

老人の白いひげをつけたような花びら

「シラヒゲソウ」は、花びらの縁が糸状に裂けた、独特の花をつけて咲きます。この糸状に裂けたところを白いヒゲに見立てて名づけられました。花言葉は「愛情の絆」、とても幻想的な花です。

陶史の森には、多くの湿地が広がる場所がありますが、湿地のどこにでもあるというものではありません。シラヒゲソウは、表面にいつも水が浮いているような典型的な湿地には生息できないようです。やや湿り気が多いけれども水が地表に流れていない湿地を好みます。

高さは、20cm 程になり、多年草です。花は直径2cm程度で茎の先端に一輪だけ、白い「ヒゲ」のついた花を咲かせます。葉は、ハート形で茎を抱くようにつけています。

ウメバチソウ属であり、ウメバチソウと同じ環境で育ち、葉の形やヒゲがなければ花の形もウメバチソウに似ています。ただ、ウメバチソウのような群生は少ないようです。

絶滅危惧Ⅱ類に入っているシラヒゲソウは、県内では飛騨地方の白川村、河合村、美濃地方の高鷲村、中津川市、恵那市に分布しています。陶史の森でも少し見られますが、山野草として採られてしまうことが多くなっていることを心配しています。シラヒゲソウに限らず、貴重な陶史の森の植物を守りたいと願っています。

ーシラヒゲソウー



森の日記

新しい仲間が入りました。

7月3日(水) 羊小屋に新たな仲間が3頭入りました。メスの「もも」と「まどか」、オスの「つよし」です。長い旅を終えてお腹が減ったのでしょうか。到着後直ぐにえさをむしゃむしゃと食べていました。元気です。
『メ～！ みなさん、よろしくお願ひします。』



教室のご案内

9月

草木染め教室(要申込 定員20名)

9月15日(日) 午前9時～11時30分
草や木を煮出して白い布を染めます。
※白布代金1枚100円

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

9月22日(日) 午前9時～11時30分
初秋の野鳥を観察します。

『陶史の森まつり』

9月7日(土) 予備日9月8日(日)
午前10時～午後2時 (自由参加)

※シャトルバス(陶史の森ーセラテクノ)を利用してください。

10月

秋の天体教室(要申込 定員20名 雨天中止)

10月5日(土) 午後7時～8時30分
集合場所：第2駐車場

きのご教室(要申込 定員50人 雨天中止)

10月6日(日) 午前9時～11時30分
陶史の森に生えるキノコを観察します。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

10月27日(日) 午前9時～11時30分
秋の野鳥を観察します。

※ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。

